

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年5月 / 0 日

群馬県知事 山本 一太 様



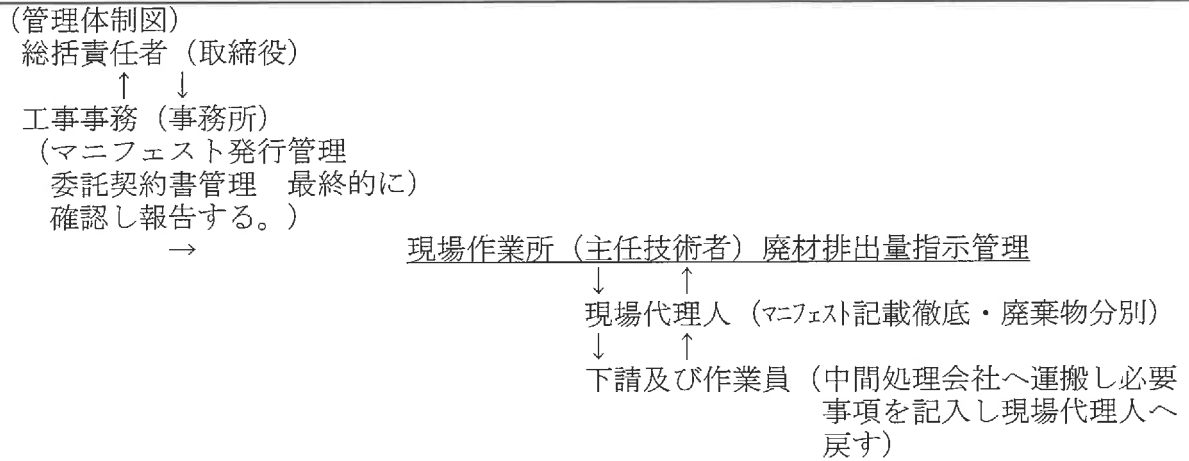
提出者 〒376-0011
住 所 群馬県桐生市相生町四丁目98番地の2
日生土木株式会社
氏 名 代表取締役 金子 謙一

電話番号 0 2 7 7 - 5 2 - 6 5 5 6

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日生土木株式会社
事業場の所在地	群馬県桐生市相生町四丁目98番地の2
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	元請完成工事高 金171,818,000円
③従業員数	15名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場から舗装版撤去したアスファルトガラ、舗装版カットの時に 出た汚泥、路盤撤去の時に 出たコンクリートガラをそれぞれ委託契約 した中間処理会社へ記載済みのマニフェストと共に運搬し処理を 委託する。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	1,734.70 t	0.45 m ³
	（これまでに実施した取組） 工事請負受注により増減が大きく変動するが、発生時の分別を徹底し、再生資源・有償処分を行う。		
②計画			
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排 出 量	1,500 t	1 m ³
	（今後実施する予定の取組） 現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	
	がれき類をアスファルトガラ、コンクリートガラに分類し、それぞれ再生資源化する	
②計画	（今後実施する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）	
	現状維持	

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【全年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	1,734.70 t	0.45 m ³
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,734.70 t	0.45 m ³
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託する中間処理会社の再生材をより多く使用する。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全 処 理 委 託 量	1,500 t	1 m ³
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,500 t	1 m ³
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 工事請負受注により増減が大きく変動するが、廃棄物の分別をして 再生資源・有償処分を行う。		
※事務処理欄			